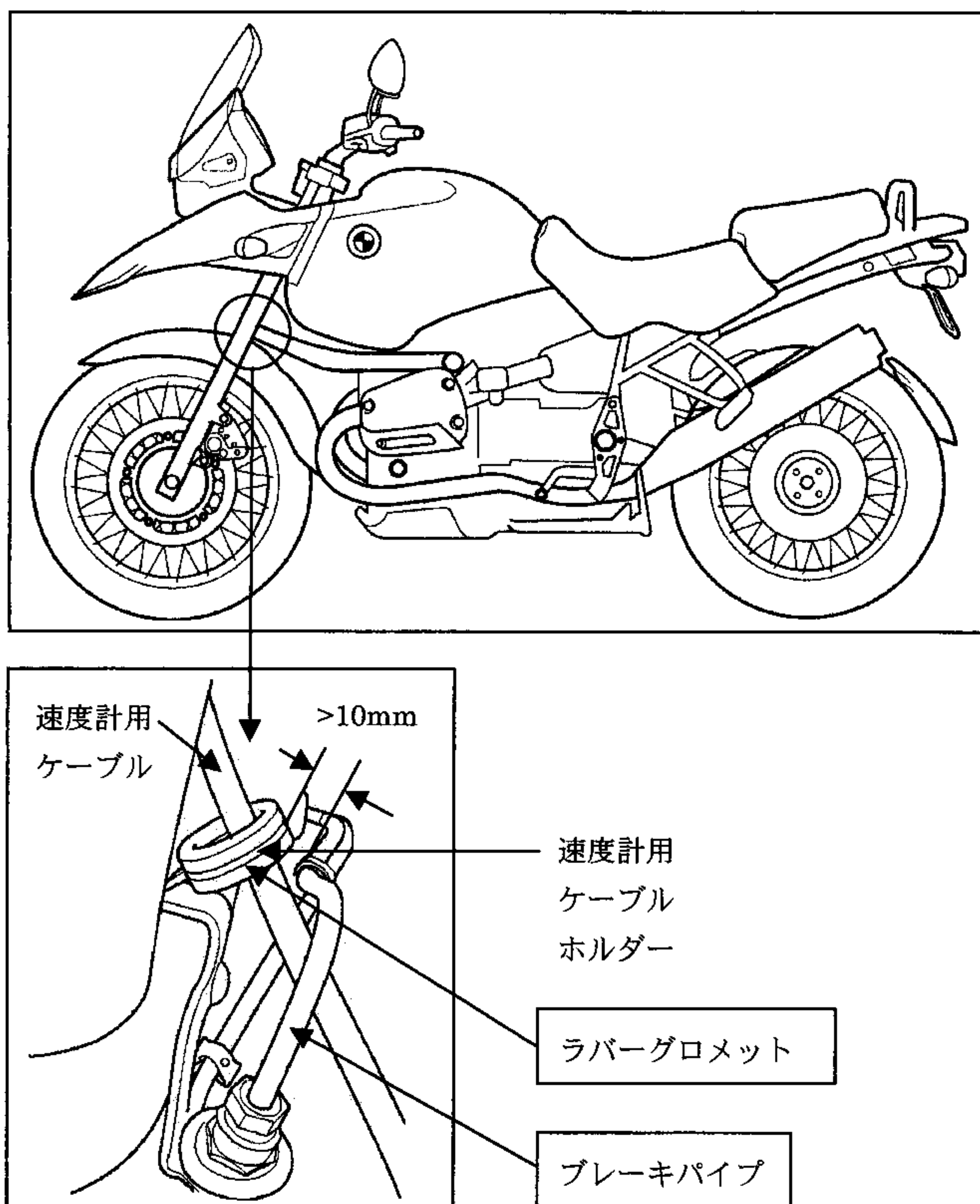


改善箇所説明図



基準不適合箇所

前輪用制動装置において、ブレーキパイプの近くにある速度計用ケーブルを固定するケーブルホルダのラバーグロメットの構造及び形状が不適切なため、当該ケーブルの振動により当該グロメットが削れ、当該ケーブルと当該パイプとが干渉することがあり、そのままの状態で使用を続けると、当該パイプが損傷して、ブレーキ液が漏れて制動力が低下し、最悪の場合、制動力が失われるおそれがある。

改善の内容

- ①全車両、ラバーグロメットを対策品と交換する。
- ②全車両、ブレーキパイプの状態を点検し、ケーブルと干渉しているもの、ケーブルと干渉した痕跡があるもの、ブレーキパイプとケーブルの距離が 10mm 以下のものについては、当該パイプを対策品と交換する。

識別

ラバーグロメットについてはプラスチックインサートの有無、ブレーキパイプについてはプロテクターの有無。

注： は改善部品を示す